

科目名	文学概論Ⅱ		英文表記	Japanese and Japanese Cultural Theory II		平成25年7月4日			
科目コード	5010								
教員名:網谷 厚子 技術職員名:						修正			
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
全学科			5年	必	履修	1単位	講義	後期	
科目目標	1 日本の古典作品に触れ、「世界」の中での固有性について認識を深める。 2 日本語で新しいものを生み出す力を身につける。 3 他者を動かす言葉の力を身につける。								
総合評価	1 古典作品についての定期テストによる評価(50%) 2 課題提出(レポート等)を総合して評価(50%)								
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)				達成度目標の評価方法			目標割合	
	①	世界の中での「日本文化」(古典作品)の固有性に対する認識を深める(機械A-1・情報C-3,メディアC-1, C-4,生物B-1,C-2)。			⇒	定期テストで評価する		50%	
	②	課題作成を通して、独創性を発揮する(機械A-1・情報C-3,メディアC-1, C-4,生物B-1,C-2)。			⇒	課題としての作品で評価する		50%	
					⇒				
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学
	○	○		◎	JABEEプログラム教育目標	A-1	C-3	C-1, C-4	B-1,C-2
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合									
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック		
評価項目		50		50		100			
基礎的理解	①	50				50			
応用力(実践・専門・融合)	②			50		50			
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)						0			
主体的・継続的学修意欲						0			
授業概要、方針、履修上の注意	1 日本文化の一つである有名な古典作品や、現代の詩・短歌・俳句について素養を深めさせ、独創的な表現へと導いていく。 2 日本語の特徴を理解し、効果的な口頭による表現を、歯切れの良い「滑舌」を身につかせる。 3 以上の内容が主体的・創造的となるように工夫する。								
教科書・教材	『日本語の詩学』(網谷厚子著)・『詩的言語論』(網谷厚子著)その他自主編成教材。								

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1		2			
2		2			
3		2			
4		2			
5		2			
6		2			
7		2			
8	前期中間試験(行事予定で変更更可)	2			
9		2			
10		2			
11		2			
12		2			
13		2			
14		2			
15		2			
期末	期末試験	[2]			
16	日本の古典文学作品の特徴	2	日本の古典作品の特徴について学ぶ。		
17	上代の文学作品Ⅰ	2	上代の文学作品の有名な作品を理解・鑑賞する。		
18	上代の文学作品Ⅱ	2	同上		
19	中古の文学作品Ⅰ	2	中古の有名な作品を理解・鑑賞する。		
20	中古の文学作品Ⅱ	2	同上		
21	中古の文学作品Ⅲ	2	同上		
22	中古の文学作品Ⅳ	2	同上		
23	中世の文学作品Ⅰ	2	中世の有名な作品を理解・鑑賞する。		
24	中世の文学作品Ⅱ	2	同上		
25	近世の文学作品Ⅰ	2	近世の有名な作品を理解・鑑賞する。		
26	近世の文学作品Ⅱ	2	同上		
27	近代の文学作品Ⅰ	2	近代の有名な作品を理解・鑑賞する。		
28	近代の文学作品Ⅱ	2	同上		
29	現代の文学作品	2	現代の有名な作品を理解・鑑賞する。		
30	「後輩に贈る言葉」の作成	2	「(まだ見ぬ)後輩に贈る言葉」を書く。		
	期末試験	[1]	上記の内容の習熟度を確認する。		
学習時間合計		30	実時間	22.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①					
②					
③					
備考欄					
(共通記述)					
・ この科目はJABEE対応科目である。 その他必要事項は各コースで決める。					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)